

当病院は

「第二世代薬剤溶出性ステントの再狭窄症例において狭窄時期に よる光干渉断層法所見の比較～単施設後ろ向きコホート研究～」 を行なっています

【研究の意義・目的】

虚血性心疾患を対象とした冠動脈ステント留置術は通常型ステントから第一世代薬剤溶出性ステントへ、さらに改良を加え第二世代薬剤溶出性ステントになり、更なる安全性の向上は得られましたが、依然再狭窄は認めています。第二世代薬剤溶出性ステントの再狭窄の原因は、依然不明で評価の少ないところであり、光干渉断層法（Optical Coherence Tomography：OCT）を用いて、再狭窄の原因を調査することを考えています。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2010年6月1日から2015年12月31日の間に、虚血性心疾患に対し第二世代薬剤溶出性ステントを留置した患者さまで、その後の再狭窄に対してOCTを用いた患者さまを対象としています。

ご提供いただく情報は、年齢、性別、身長、体重、既往歴、再狭窄したステント名、病変長、血管径で、ステント留置から1年以内の狭窄例と1年を超えた狭窄例についてOCT解析結果を比較検討します。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さまに日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。

なお、この研究の責任者は小倉記念病院 循環器内科 安藤献児です。

【個人情報の管理について】

個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報は削除した上で、厳重に管理を行い、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際にも個人が特定できる情報は一切含まれません。この研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間（もしくは公表後3年間）保存した後、適切に破棄いたします。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の

診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。
なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合
でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 循環器内科 担当者 陣内博行 / 蔵満昭一
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）